

## 2022年度 第3回理事会議事録

日 時 2022年6月29日 19:00～

場 所 WEBミーティング

### 出席者

林(会長/大島HP),加藤木(副会長/前橋保健所),中嶋(副会長/県立)横澤(くわのみわい),福永(ケ・クリニック),鎌塚(上毛HP),佐藤(田中HP),片山(アリアイ),永尾(赤城高原HP),富澤(西毛HP),番場(あけぼの),鈴木(群馬HP),茂呂(サンピ),小林(つつじ),中島(高崎社協),天笠(監事/三枚橋HP),狩野(事務局長/田中HP),原島(事務局/田中HP),藤井(事務局/田中HP)

### 〈林会長挨拶〉

理事の皆様におかれましては、前回の第1回目の定例会、総会と一緒に開催という形でしたがお時間作っていただいて、議題の説明等ありがとうございました。おかげさまで滞りなく今年度の総会も無事に終了しました。全国大会がいよいよ2カ月後に迫ってきており、理事の皆様にも色々な部会を担当していただいております。大変お忙しいと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。千葉県の方からも連絡あって、千葉県も群馬県大会に人を派遣する予算を組んで協力してくれるとのこと。茨城県では前々から連絡いただいております。日本協会の他の支部からも色々協力いただいているのと、日ごろソーシャルワーカー業務で色々な事業所の方と関わる中で、「何か協力できることがあればお話し下さいね。」とお声掛けいただいたり、全国大会に協力したいからと当会に入会している方もいます。いろいろな方が自分たちの背中を押してくださってこの大会にむけて協力していただいているので本当にありがたいと思っています。全国大会の準備でお疲れだと思われませんが、議題はたくさんありますので活発な意見交換のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 1. 2022年度第1回理事会の振り返り

略

### 2. 日本精神保健福祉士協会関連

- 2022年度代議員総会について  
【6月19日に総会が開催】
- 今年度の日本協会の理事について選出された方は全員通った。
- 中期ビジョン2022について、力を入れる事として構成員の増加、魅力ある組織作り、他団体と協力していく。
- 質疑の中でクローバーの運営に対し受任するかしないかについて意見が出ていた。2009年からの累計で189件のうち、31件受任していない。どんな時に受任不可になるのかについては、個人受任が不可となるのが多いのと、取り下げとなったのが4件程。今後クローバーの運営について都道府県協会の方に移譲していく話があったが今後検討していく。
- 今年度の診療報酬改正について、精神保健福祉士の評価が高かったため、会の動きが大きかったのではないかと考えられた。
- 障害者総合支援法の見直しが来年度行われる。そこで、支援の質の向上が必要であろう。支援者のスキル不足があるのではないかと。他分野からのGHの設置について支援実績のない事業者が増えていて、外部評価監査、協会としてどの様に考えているのかという質問があがった。
- 通過型のGHが正式に入ってくるのではないかとという話があり、通過型のGHの維持、宿泊型との住み

分け、そのあたりについてどの様に意見を出していくのか。

- ・東京支部から精神科病院の地域移行、病床削減が進んでいないのではないかとのがあがった。
- ・「第18回認定スーパーバイザー要請研修」受講者推薦について  
6月28日までで期限が切れているため、こういった依頼が来ていたという報告。

### 3. 事務局報告

- ・新規入会者について  
入会者7名。退会者4名。3年間以上未納あり、規定に沿って退会扱いとする。
- ・定時総会について  
5月13日にオンラインで事前に書面評決をもらって、日本協会の群馬県支部、群馬県精神保健福祉士会共に、過半数以上の書面評決をもらって議案については全て承認してもらった。報告書については、定例会の案内とともに発送している。
- ・今年度の事業費  
今年度の事業費について担当理事に渡したい。7月8日に皆が集まるのならその日に渡したい。  
→承認。7月8日に渡すこととなる。
- ・群馬つつじ会より「賛助会員継続のお願い」について  
例年通り会費を納めた。
- ・一般社団法人 社会的包摂サポートセンター「よりそいホットライン事業報告会と生活困窮者への支援について考えよう」への協力依頼について  
全国規模の厚生労働省の委託を受けている24時間の相談窓口。よりそいホットラインの報告会が関東甲信越ブロックで年1回報告会があり、その報告会を群馬県が担当。本部より関係団体たくさん作って欲しいという依頼もある。全国大会前に協力は難しいと思われるので、後援してもらえないか？  
→他団体の活動に協力していくという規定はあるので後援依頼、承認する。
- ・群馬県犯罪被害者等支援ハンドブック改定の依頼について  
県で毎年作成している犯罪被害者等支援ハンドブックの中に精神保健福祉士会の項目があり、中身を確認。変更点があれば報告が必要なので、気が付いたことがあればチャットワークで知らせたい。  
→PSWのままのため、MHSWに訂正する。
- ・令和4年度群馬県社会福祉協議会会長表彰・感謝候補者の推薦について  
→3役で対象者を検討し、その対象者を推薦することとする。
- ・保健事業者等功労者知事表彰被表彰・感謝候補者の推薦について  
→3役で対象者を検討し、その対象者を推薦することとする。
- ・群馬県医療ソーシャルワーカー協会代表理事（会長）狩野寛子氏 就任のお知らせについて  
中井元会長から狩野氏に変更となった。

### 4. 2022年度第2回定例会（中部地区）

7月8日（金）Gメッセ群馬 中会議室301にて開催。

- ・駐車場代、日当の負担について、定例会のみの参加の場合は駐車場代のみ県士会が負担。企画委員のみの参加者、または定例会と企画委員会の両方参加者は全国大会経費から算出する。
- ・中部地区理事より・・・全国大会前に行う唯一の定例会ということで、研修企画の内容がプレ全国大会。4月の下旬ぐらいから準備をしている。大会本番のプログラムに概ね沿って、企画の内容を各担当者からプレゼンしてもらったり、プレ企画や分科会は予行演習として一部発表してもらおう。運営に関しては教育研修委員会と共同し、細かい役割はこれから詰めていく。

- ・ 機材について、Gメッセの会場からレンタル出来るが、追加料金がかかる。基本的には自分達で準備しようと考えている。会場費だけの支払いをしているが、ゆくゆく追加料金が発生する可能性があるのご承知おきいただきたい。当日オンラインでの参加も想定していて、現状5名の申込者がいる状況。本番に向けて盛り上げていきたい。
- ・ 事務局より・・・5日に中部理事が打ち合わせをするとのことなので、その後の時間を機材の接続テストを行う予定。今後も定期的にこういった形での定例会の開催の仕方をするのであれば、広報と相談しながらではあるが、必要な機材の購入やレンタルを考えていきたい。  
→必要であれば購入は構わない。必要に応じて議題にあげてもらえれば。
- ・ 茨城、栃木の会員の方にもオンラインで定例会に参加してもらおうのはどうか？  
→担当者で検討して決定する。

## 5. 各事業報告

### 【基幹研修Ⅰ】

- ・ 特に動きなし。

### 【教育研修】

- ・ 今年度も昨年度と概ね同じ水準で、研修企画を行っていく予定。9月の全国大会では委員の半数以上が運営委員を担っているため、全国大会の準備に支障がない範囲内で活動していく。第1回目の研修会は7月8日Gメッセでの定例会の中での研修企画。1回目の会議は7月1日に行う。2回目、3回目の研修会について具体的に案を出すのは全国大会終了後を考えている。今年度からの新しい委員もいるので、役割分担等も行っていく。

### 【施策提言委員会】

- ・ 群精社協とも施策提言に関して何か出せたらと考えている。

### 【司法ソーシャルワーク委員会】

- ・ 来年2月ぐらいに研修会の話が出ていたので、確認する。全国大会でつながりネットの人たちとプレ企画を出す打ち合わせを一部でしている現状があるので、2月のことまでは話がっていない。

### 【SWD委員会】

- ・ 7月23日（土）13:00～16:00で開催予定。構成としては第1部、第2部となっていて、第1部は認定特定非営利活動法人 抱樸 森松長生氏に、ひとりにしない支援というテーマで講演頂く。第2部のパネラーに関して当会からは横澤さんに引き受けていただいた。社会福祉士会からは群馬県地域定着支援センターの高津努氏。医療ソーシャルワーカー協会からは富岡真理子氏。

### 【倫理準備委員会】

- ・ 全国大会終了後に活動していく。

### 【広報準備委員会】

- ・ ホームページ随時更新している。
- ・ 全国大会のホームページがアップされてから、当会のFacebookにアクセスされる件数が増えている。

### 【災害支援委員会】

- ・ 6月20日に第1回の委員会を開催した。DWAT関連で派遣依頼が来ている県に関してはチャットワークで流しているので見て欲しい。前年度の首都圏ネットで起業費の申告漏れが起きてしまったことに関して委員会内で共有が出来ていなかったという問題を中心に、日本協会の災害支援対策委員と県士会の災害支援委員会の情報交換の仕方を確認。各事業に関して今までやれる人が何となくやっていた経緯があるが、担当者を2人以上決めて情報共有出来るようにと検討した。災害時行動カードというのを長い時間かけてカードを作るべきかはまだ検討中。災害支援のFacebookがあるが、皆にとって使いやすいア

プリなのか見直している。

- 災害時行動カード、作るかどうかを再検討しなければならないが、デザインだけはだいぶ前に依頼して作成してもらっているが、デザイン費支払いが出来ていなかったものをようやく支払えた。
- DWATに登録されている人に直接依頼がいて、県士会に依頼がないという状況が続いていた。災害対策委員の中でしっかり県士会を通すように話をし、県士会から災害対策委員におりてくる形が一番いいと思うので、そこをしっかりと整理した。
  - DWATロジスティック機能検討会（第6回）の開催にかかる登録員の派遣について  
令和4年7月11日（月） 郡司聡氏、高橋沙織氏
  - DWAT平時の活動調査・研究委員会の開催にかかるチーム員の派遣についての派遣について  
令和4年7月12日 長坂勝利氏、ファシリテーター：篠原智哉氏

## 6、第57回全国大会・第21回学術会関連

- 横澤実行委員長・各部会で具体的な動きになっているので、ここでまとめて発表するのは難しい。もうすぐ大会への参加申し込みが始まるわけだが、実際どの程度の方々が申し込まれるのか全く読めない。残り2ヵ月を切り、情報も多くついていけないところがあるが、出来る限り皆で共有し、全体で盛り上がっていかれたらと思っている。体調に気をつけてお願いしたい。
- 原島事務局長・先日chatworkにあげた通りではあるが、この場で了解いただけるかどうか。大会運営に関わるFacebook、Instagram、Twitter、新しいSNSのアカウントを作成してよいかどうか？
  - 意義なく承認。
  - どういった運用をしていくのか広報委員会に一任でよいか？
  - 意義なく承認。
  - ⇒活用していくSNSの種類や、活用方法について広報委員会で早急に検討し、全国大会の抄録集にもQRコード等で表示していく。

## 7. その他の報告・検討事項

- 三枚橋HPクラスター報告（天笠幹事）

クラスター発生となったが、昨日収束した。12日（日）熱発者あり、抗原検査の結果陽性発覚。同病棟の入院患者さん、職員に抗原検査行い陽性者が5名以上発生したため、クラスター扱い。病棟が救急病棟だったので、保護室が多かったり、準保護室エリアがあったので、比較的ゾーニングがしやすかった。保健所への報告がPCからしかできないため、保健所への報告が遅れた。火曜日にCWATが介入し、最終的に20日に陽性者が出てからその後新たな感染者はなかったため、収束と判断。

直接患者さんと話せなくなった部分はあったが、日ごろからのコロナ対策のため、大きな混乱なくワーカー業務を行えた。家族への連絡調整については看護師という話だったが、ワーカーが行う結果となった。コロナの薬を使うために同意書が必要となるが、誰にもらえばいいか不明なケースについてワーカーが対応した。
- 埼玉県協会・支部総会 6月5日（林会長、加藤木副会長）

厚労省が開いている「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」に岩上さんが参加されている。精神保健福祉法が改正されるにあたって検討会で話した内容が盛り込まれている可能性がある。隔離拘束を0にする。市町村の精神保健の相談体制を手厚くしていくにはどうすればいいか等が議題にあがっていた。6月9日に検討会の報告書が厚労省のHPにアップされている。

〈文責：藤井〉